

経済建設常任委員会

(9月12日開催)

議案第4号、議案第7号の一部、議案第10号 (原案可決)

委員会質疑要約

議案第4号について

Q オライはすぬまの急速充電設備だけクレンジットカード支払いのみとなっているが、コイン式も併設してはどうか。

A コイン式も設置する方向で検討します。議案第7号について (歳出)

Q 加工用米、飼料用米が増える見込みはどれくらいか。

A 面積換算で、加工用米は60ヘクタールほど、飼料用米は5ヘクタールほどの増となっています。

Q 創業支援事業により起業を支援することだが、市内の創業者数と廃業者数はどれくらいか。

A 年間で4、5件ほどの創業と廃業があり、現状では創業者数が多少下回っています。

Q 消費者トラブルの件数はどれくらいか。

A 消費トラブルの件数はどれくらいか。

A 昨年の実績値は、市の窓口相談が286件、県に寄せられた市民の相談が211件、計497件です。

Q 成東259号線の工事は計画通りに進んでいるか。

A 調査、測量、協議とも進んでおり、計画に追いついていくと思われま。

Q 交差点協議は1か所だけか。

A 3か所行う予定です。また、うち1か所の幅の狭い部分は拡幅する予定です。



経済建設常任委員会の様子

議案質疑

最終日に提出された議案第19号について、質疑が行われました。

Q 開札調書を見ると入札者は2社で、1社は辞退しているため、実質的に1社の入札で成り立っていないか。

A 総務部長 手続きは市の要綱に基づいて実施しています。

Q 市長 手続き上問題ないということですが、異常なこととは捉えていません。異常なのは入札を取り巻く環境であり、1社の入札もない状況がしばしば起こっていることから、引き受けがありよかつたという見解です。

討論

議会最終日には、議案第6号「財産の取得について」に関して、今関係議員から反対討論が行われました。

地域医療・高齢者対策に関する特別委員会視察研修

平成26年8月4日(月) 5日(火)に、地域医療・高齢者対策に関する特別委員会の視察研修を行いました。

今回の視察は、地域医療を考える市民会議、高齢者サポートセンターについて研修するため、栃木県小山市を訪れました。また、市民病院の現状と主な取り組み、高齢者生きがい対策事業について研修するため、栃木県佐野市を訪れました。

栃木県小山市では、市民病院・公園・看護学校が連携した複合施設の整備、市民会議が中心となり市民の意見等を地域医療へ反映させる取り組み、また、公設民営方式の外部委託による地域包括支援センターの運営について学びました。

栃木県佐野市では、市民病院の医師看護師不足や経営健全化等の課題への取り組み、市民病院建

設検討委員会での、病院機能や経営形態の見直しを行う取り組み、また、高齢化社会を見据え、高齢者の社会参画・交流・趣味の場所を提供し、市民主体の運営による環境づくりについて学びました。

両市とも、地域の課題を市民とともに検討し、よりよいまちづくりに取り組む姿勢がうかがえました。



佐野市役所にて



佐野市での研修



小山市での研修